

2017 年度 第 6 回総括班・国際活動支援班合同会議 議事録

日 時：2018 年 2 月 4 日（日）12 時 50 分-13 時 40 分

場 所：早稲田大学早稲田キャンパス 11 号館 702 号室

住 所：東京都新宿区西早稲田 1-6-1

出席者：石戸、岩坂、久保、小松（特任研究員）、酒井、末近、鈴木（絢）計 8 名、幸加木（特任研究員）

報告事項：シンガポール国立大学中東研究所との共催「Global Refugee Crisis」終了

http://www.shd.chiba-u.jp/glbcrss/conventions/convention20180105_06.html#main

議題 1 来年の国際会議をどうするか

- ・来年度の国際活動支援班予算は、分担金を含めて 530 万円（今年度の 390 万円より多く使用可能）
- ・開催費に関わる金額を国際会議責任者となる久保氏（早稲田）に配分し、現地開催校や会場費の支払いに充当
- 現時点での予定一場所：セルビア、テーマ：紛争
 - 会議組織委員会を組織 ⇒久保氏を中心に、現地開催校との連絡や渡航手配など、事務体制を整える。プログラム作成などにはアウトソーシングも視野に入れる
- いつ、どういう計画に：12 月 20 日以降を目途に
 - セルビアでの会議で報告者を公募する場合は 9 月締め切り、10 月選定のペースで行う必要あり
 - 応募にペーパーは課さない
 - 開催日数は 2 日間。滞在費が高騰しなければ 3 日間開催も
 - パネルの数は「1 日目：2 日目」を 4：3（4：4 でも）、テーマパネルに加えて、計画研究ごとに出すパネルがあれば出す
 - 日本側がパネル・テーマを決め、セルビア側に投げる
- パネル・テーマのアイディア
 - ML にて個人の報告テーマを募集し、その上でパネル・テーマを総括班・国際活動支援班で組み合わせる形とする。公募研究の方にも応募してもらう

議題 2 オンライン論文のシリーズ名、仕様など

- どのような名前にするか？
 - 松永案
和：新学術領域「グローバル関係学」オンライン・ペーパー・シリーズ
英：MEXT Grant-in-Aid for Scientific Research on Innovative Areas “Relational Studies on Global Crisis” Online Paper Series
 - 年度内にオンライン・ペーパー・シリーズをウェブに設計予定。統一の表紙をつけて各論文を PDF にしてアップする
⇒ 論文系のペーパーとして、第一号に領域代表が日本語の「関係学」についての論文を掲載予定。
+同様に松永、久保

- ⇒ その後、代表者、分担者が「関係学」としての論文を掲載していくことを想定
- 執筆者：新領域のメンバー（関係者）が執筆したものか、新領域主催の国際会議、研究会で報告されたペーパーを掲載
- ⇒ より業績評価の高いものにブラッシュアップする前段階として
- 査読：総括班が担当
- 編集委員：オンラインペーパー編集委員は松永（長）、五十嵐（副）に分担者から数人選ぶ
- 執筆要綱：内部の論文を掲載するだけなので当座のところ不要
- 英語のジャーナル：後に叢書、ワーキング・ペーパーなどシリーズとして一本化することを目指し、あえてジャーナルを新設することはない

議題3 来年度の事業計画

- ・ 3月に再度総括班・国際活動支援班合同会議を開催、それまでに「今年度総括」と「来年度計画」を報告依頼。
- 次回日程候補：3月2日午前／午後、3月10日夕方（2月26日午前）
- ⇒ 学術調査官の日程を優先的に伺う。